

施策を問う

ここが聞きたい

まちづくりを上向きに

答 今後も自治会と連携を深めたい



照屋 仁士 議員

問 南風原町をつくるのは「ひと」だと考える。社会教育について問う。

各字、地域では地道な地域活動が見られる。一方、町の連合会組織は加盟数や連帯活動において盛り上がり欠けている。

さらなる現状分析や社会教育団体に寄り添った対応が求められるのではないか。

教育長 社会教育団体に寄り添ったかたちで盛り上がるよう進めていく。



63年ぶりに復活したハーベラーモーイー (本部)

問 最も住民に近い地方自治は「自治会」と考えると考える。

これまで自治会加入率の問題等も指摘をしてきた。自治会への支援は十分か。地域コミュニティの維持だけではなく、発展に向けた検討を重ねていくべきではないか。

副町長 字・自治会と町行政の連携は、町の発展に不可欠である。今後も自治会との連携を深めたい。

そのためのVISIONを上向きに

問 町は住民に一番身近な行政である。だからこそ国や県には届かない、町民一人一人の声を拾い上げ、暮らしを上向きに導いていく姿勢が必要となる。現状だけを良とせず、絶えず行政サービスの改善に努める必要があると考えるがどうか。

副町長 引き続き住民サービスの向上に努めたい。

南風原町を上向きに

問 本町を上向きにしていくには、広く大きな視野が必要である。他市町村や国・県に学ぶだけでなく、議員提言や町内外からの提案に耳を傾けてもらいたい。多くの意見が施策に反映されることを望むがどうか。

副町長 前例にならうだけでなく、町民をはじめ多くの提案・提言に耳を傾け、町の施策に反映させたい。